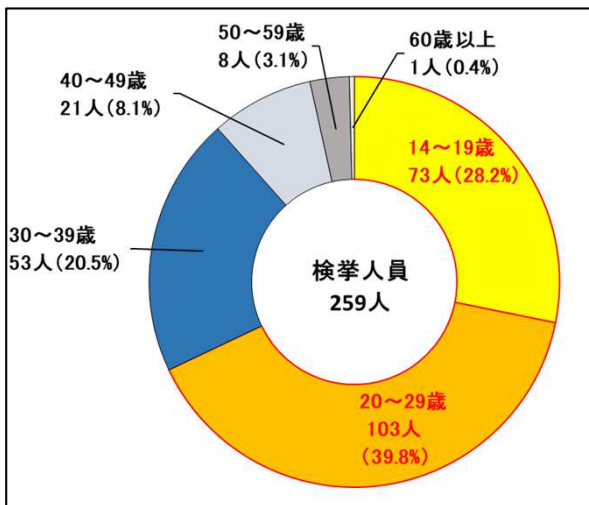


不正アクセス行為者の実態

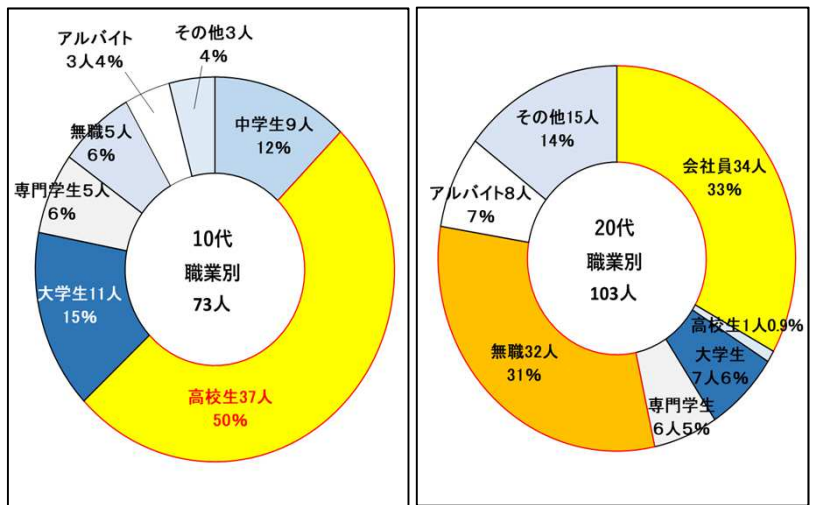


警察庁が令和5年における不正アクセス禁止法違反事件の行為者の実態を調査したところ、行為者の割合は**10代～20代**が最も高く**68%**を占め、職業別では**10代では高校生**、**20代では会社員・無職**が多く見られたようだ。若いうちに、インターネットを正しく利用する能力を身につけておく必要があるな。

不正アクセス禁止法違反被疑者の年齢構成



同法違反被疑者の10代～20代における職業別



【参照元】不正アクセス行為の発生状況及びアクセス制御機能に関する技術の研究開発の状況をもとに作成

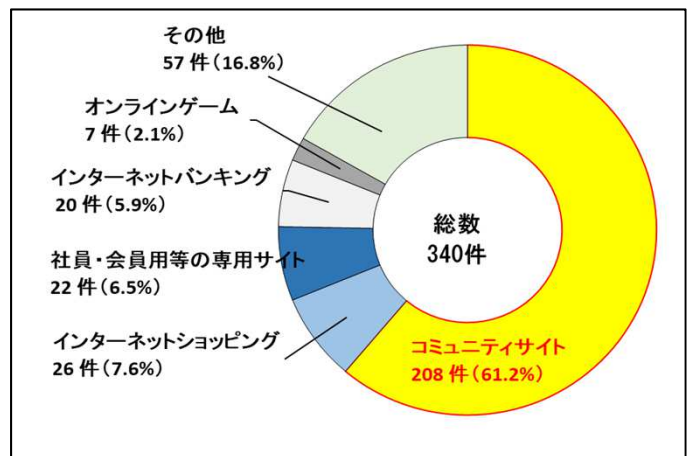
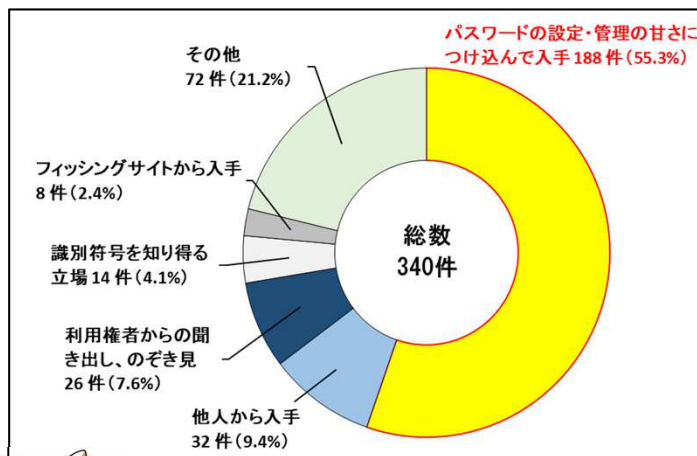
10代～20代における不正アクセスの手口別検挙をみると、「利用者のパスワード設定、管理の甘さにつけこんで」が多く55%を占める。

10代～20代における不正に利用されたサービス別の検挙をみると、「コミュニティサイト（SNS）」が多く60%を超える。

ここからわかることは、**SNSを利用する際には、①簡単なパスワードを設定しないこと、②友人や交際相手を含め、他人にパスワードを教えないことが重要だ。**



不正アクセス禁止法違反被疑者（10～20代）における犯行手口及び犯行サービス



被害に遭った場合は、警察に相談を！！

最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口



<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>